

1 保護者・学校等への説明

(1) 児童生徒・保護者アンケートの実施

- 実施期間： 令和7年（2025年）10月31日～11月9日
- 実施方法： 「すぐーる」にて一斉配信し、意見募集
基本構想の概要を説明し、児童生徒と相談しながら回答
- 回答人数： 2,781人（意見総数：3,275件）

(2) 校長・園長会への説明

- 開催期日： 令和7年（2025年）11月4日
- 説明内容： 基本構想の概要を提示し、集約・再編の必要性及び
今後の施設整備の方向性等を説明

2 市民意見の聴取

(1) パブリックコメントの実施

- 実施期間： 令和7年（2025年）9月22日～10月21日
- 受付件数： 5人（意見総数：8件）

熊本市学校給食施設整備基本構想（案）について

3 アンケート及びパブリックコメント結果

【児童生徒・保護者アンケート】

再編・集約についてのアンケート

概ね同意されている方	36%
不安や心配事をお持ちの方	10%
どちらでもない、他の要望等	54%



【概ね同意されている方の主な意見】

- ・衛生面を担保でき、効率化を図れる。
- ・調理員の負担軽減や快適な職場環境が整う。
- ・食中毒の発生リスクが低減し、より安心安全で、これまでのようにおいしい給食を提供できる。
- ・コスト削減になる。

【不安や心配事をお持ちの方の主な意見】

- ・食育機会の減少（調理員の顔が見えず、感謝を伝える機会が減る）
- ・食物アレルギー対応（学校との連携、これまでのように対応可能か）
- ・品質低下（給食の温かさ、おいしさ等）
- ・配送時間（熊本市は渋滞がひどいので配達が遅れないか）
- ・食中毒の影響拡大（施設規模が大きくなることで発生時の影響大）
- ・災害発生時のリスク集中（発災時は、複数校に影響が及ぶ）



【概ね同意する主な意見】

- ・現在も中学校では共同調理場で給食を調理して配送されており、特に支障がなければ小学校も配送方式に変わっても良い。
- ・給食に携わる方々が働きやすい環境になる。
- ・少子化が進む中で、適正な規模で集約して、安定した給食を提供する体制を整えることは現実的な選択。

【不安や心配ごとの主な意見】

- ・品質低下（給食の温かさ、おいしさ）
- ・食物アレルギー対応（これまでのように対応可能か）

【パブリックコメント】

給食施設の集約・再編については、不安や心配な点もあるが、少子化への対応、コスト削減や効率化等のメリットもあり、自校式からセンター方式への変更については、概ね同意のご意見が多数であった。

熊本市学校給食施設整備基本構想（案）について

4 素案への主な反映内容

基本的方針（P.18）	変更前	変更案
おいしい学校給食の提供	－（最後に変更案を追記）	保温食缶の活用や今後の技術の進歩を積極的に取り入れることで、給食センターからの配送でも適温を保持し、よりおいしい給食の提供を目指します。
安全・安心で安定的な学校給食の提供	より効率的な運用を行うことで、「安全・安心で安定的な学校給食の提供」を推進します。	より効率的な運用を行います。また、食物アレルギーへの対応については、専用調理室設置や専属の調理スタッフの配置を行うなど、学校との密な連携を図ることでこれまでのように食物アレルギー対応を行います。さらに、食中毒発生時の影響が拡大しないよう徹底した管理体制の構築に努めるなど「安全・安心で安定的な学校給食の提供」を推進します。
食育の充実	また、新しい共同調理場には、研修室や調理過程の見学スペースを整備し、児童生徒が食に関して学ぶ場として活用します。	また、新しい給食センターには、研修室や調理過程の見学スペースを整備するなど、給食センターからの配送となっても給食に携わる人との交流や、食材に関心を持つ機会を創出し、「食」に関心を持ち給食を身近に感じられるような取組を行っていきます。

熊本市学校給食施設整備基本構想（案）について

5 今後の主なスケジュール

令和7年12月 市議会（教育市民委員会）へ
基本構想（案）について所管事務報告
関連予算を計上

令和8年1月～ （仮称）天明給食センター整備基本計画策定等支援業務委託の公告

令和9年～ 基本設計・本体工事等の施設整備
令和12年

令和13年頃 （仮称）天明給食センター竣工、供用開始

※他の7施設についても、基本構想に基づき、建設用地取得の目途が立ち次第、
老朽化した施設の多いエリアを優先的に、順次整備を進める

※給食センターの配置案については、建設用地の取得状況や各施設の基本計画
の策定状況を踏まえ、5年ごとに見直していく